

横浜市教育委員会
定例会会議録

- 1 日 時 平成28年9月2日（金）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者 岡田教育長 今田委員 間野委員 西川委員 長島委員 宮内委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

平成 28 年 9 月 2 日（金）午前 10 時 00 分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項
平成 28 年度 横浜市教育課程研究委員会 研究協議会の開催について
- 3 審議案件
教委第 37 号議案 教職員の人事について
- 4 その他

[開会時刻：午前10時00分]

岡田教育長

ただいまから、教育委員会定例会を開会いたします。

はじめに、会議録の承認を行います。8月5日の会議録の署名者は西川委員と長島委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、前回8月22日の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

小林教育次長

【一般報告】

1 市会関係

○8/29 こども青少年・教育委員会

教育次長の小林です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、8月29日にこども青少年・教育委員会が開催され、横浜市立小学校給食におけるアレルギー事故について及びハマ弁（横浜型配達弁当）の実施状況について報告をいたしました。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

○8/17～ 平成28年度全国中学校体育大会

○8/23 よこはま子どもピースメッセンジャー・子ども実行委員委嘱式

○8/29～ 横浜子ども会議

(2) 報告事項

○平成28年度横浜市教育課程研究委員会研究協議会の開催について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、前回、中学校の県総合体育大会について、御報告させていただいておりますが、8月17日から開催されました、平成28年度全国中学校体育大会におきましても、本市の中学校が大変すばらしい成績を収めておりますので、本日は全国第3位以上の成績を収めた学校について御報告させていただきます。

まず、8月19日、第47回全国中学校柔道大会が新潟県上越市で開催され、女子個人70キログラム級におきまして、六角橋中学校3年の朝飛真実さんが優勝しております。

また、同じく8月19日に、第56回全国中学校水泳競技大会が新潟県長岡市で開催され、学校別対抗では、港南中学校が男子総合優勝に輝きました。また、同校3年の須田悠介さんが100メートル自由形で第1位、50メートル自由形で第2位となっております。加えまして、男子400メートルフリーリレーでは、1年生の荻野倭太朗さん、3年生の渡部光海さん、2年生の河村駿佑さん、3年生の須田悠介

さんのチームが見事全国第1位となっています。更に、鶴ヶ峯中学校2年の泉原風沙さんが、200メートル背泳ぎで第1位、100メートル背泳ぎで第2位となっております。

また、8月21日には、第46回全国中学校剣道大会が長野県長野市で開催され、潮田中学校3年生の阿部真奈さん、2年生の村田七菜さん、2年生の森山香凜さん、3年生の中村美悠さん、3年生の杉本咲妃さん、2年生の成田夏菜帆さん、1年生の岸本彩花音さんの7名で、女子団体戦に出場し、全国第3位という成績を収めております。

全国大会の報告につきましては、以上となります。

引き続き、市教委関係の主な会議等について御報告させていただきます。8月23日に、よこはま子どもピースメッセンジャー・子ども実行委員委嘱式が行われ、岡田教育長が出席しております。こちらは、各区の小中学校の代表者が出席して、7月に行われたよこはま子ども国際平和スピーチコンテストの、市長賞を受賞した4名をピースメッセンジャーとして、また各区の代表者を子ども実行委員として、委嘱するものです。なお、小中学校で集めた募金と、実行委員会で作成したピースメッセージを届けるために、ピースメッセンジャーの4名を10月にニューヨークの国連本部等へ派遣する予定です。

また8月29日からは横浜子ども会議が全区で開催されております。8月30日には、戸塚区に岡田教育長、宮内委員が、同日泉区に岡田教育長、旭区に西川委員が出席しております。また、8月31日の港北区の子ども会議には今田委員と長島委員が出席しております。

次に、報告事項といたしまして、平成28年度横浜市教育課程研究委員会研究協議会の開催につきまして、この後所管課から報告させていただきます。

私からの報告は以上です。

- | | |
|--------|--|
| 岡田教育長 | 報告が終了いたしました。何か御質問・御意見がございましたらお願いいたします。 |
| 今田委員 | 中学校の全国の体育大会、昔、私の頃は放送陸上と言っていたと思うのですが、立派な成績を皆さんが頑張ってとられたことに、まず敬意を表したいと思います。オリンピックの男子100キロ超の柔道選手は六角橋中学か何かの出身でしたか。 |
| 小林教育次長 | 羽賀選手は六角橋中学です。 |
| 今田委員 | 近くに道場か何かがあるのですか。 |
| 小林教育次長 | 朝飛道場があります。 |
| 今田委員 | それがこういうことに多少影響があるのですか。 |
| 小林教育次長 | 優勝した朝飛さんは、朝飛道場の娘さんです。 |
| 今田委員 | そうですか。 |
| 岡田教育長 | 朝飛道場さんは部活の指導員もなさっているのですか。 |

小椋教育政策推進等担当部長	数年前はやっていただきました。現在は顧問がいますので。
岡田教育長	柔道に精通した顧問がいないときは、朝飛さんが外部指導員として指導してくださって、今は専門の顧問がいるということです。
間野委員	朝飛さんは慶応の柔道部だったのでしょうか。
小椋教育政策推進等担当部長	明治です。
今田委員	そういう立派な指導者がおられるのですね。ありがとうございました。
岡田教育長	ほかに何かございますか。よろしいですか。
今田委員	<p>せっかく行きましたから、子ども会議の感想です。私は長島委員と一緒に見学させてもらったのですが、港北区の場合、いろいろな見方があるのでしょうかけれども、やはりあそこへ選ばれて来て、ああいう場で発言するという中で、やはり物事を整理して話をする 것도学ばし、友達もできるし、少し勇気も要ります。事務方でいろいろ御苦労される方はきっと非常に大変だったのだらうと思っておりますが、あその場合は警察と連携しての話だったのですけれども、非常に意義深く拝聴、拝見させていただきました。</p> <p>子供たちの意見も聞いていると、「よくそこまで考えているな」ということが幾つかあって、非常に参考になったというか、良い企画だと思って帰ってきました。以上です。</p>
宮内委員	<p>私も傍聴した印象を申し上げます。高校生がコーディネーターとなって、各グループディスカッションで学区の中学生が、小学生たちを指導する。こういう点が、小中一貫、もしくは中高一貫的な、縦の流れで指導するという良い典型的なものではないかと思いました。</p> <p>それと、いじめ防止のためには2つのことをしようというのが大半でした。1つは「あいさつ運動をしよう」、もう1つは「違いを尊重しよう」という2つに集約されたわけです。このようなディスカッションをした子は、そこで成長したのだらうと思います。ならば、同じようなパターンを、これだけ進化しているパターンがあるわけですから、できるだけ多くの子供たちに体験させることによって、少しでもいじめ防止の役に立つのではないかと考えました。</p>
岡田教育長	ありがとうございます。
西川委員	<p>私も感想をお話しさせていただきたいと思います。私は旭区にお邪魔したのですが、台風でどうなるかと心配されましたけれども、元気に子供たちが集まっておりました。それと同時に、職員もそれぞれの担当職員がたくさん参加して、子供たちの様子を見守ってくれたのはとても良かったと思っております。</p> <p>昨年度は一括して、一堂に会して会議をやったのですが、今年の区でやるということについてはとても中身が深まって、今、宮内委員が言われましたけれど</p>

も、これをここで終わらせるのではなくて、各学校にどうつなげるかというところまで掘り下げて高校生がお話ししてくれたのはとても良かったと思います。

また次のサミットもあるようで、その成果を次のサミットで発表するというお話もございましたので、心強いと思いました。子供たちが立ち上がってくれるのが一番良いのではないかと感じました。

岡田教育長

ありがとうございます。

長島委員

私も港北に行きました。港北の場合は警察署でやったので、課題も幾つか、テーマが4つあって、それぞれの子供たちがやはり縦の連携で、宮内委員がおっしゃったように、良い学びができていくということを実感しました。そういう中高生に触れた小学生が「ああいう中学生、高校生になりたい」、「ああいうマネジメントできる中学生、高校生になりたい」と思って育っていくことがやはり大事なことなのではないかと思しますので、積極的にその場を増やしてほしいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにはよろしいですか。

それでは、いただきました御意見をまた次につなげていきたいと思います。

それでは、平成28年度の横浜市教育課程研究委員会研究協議会の開催について、所管課から御報告いたします。

長谷川指導部長

指導部長の長谷川です。よろしくお願いたします。

それでは、平成28年度横浜市教育課程研究委員会及び教科等専門部会研究協議会の開催について御報告いたします。お手元の資料を御覧ください。

この協議会は、市立学校の教育課程の編成、実施、評価、改善を促進し、学習指導の充実を図るために毎年開催しております。本年度も8月18日に教育課程研究委員会全体会総則部会、そして8月23日、24日に各教科等専門部会に分かれて開催し、県立音楽堂をはじめ、各学校を会場として研究発表や協議が活発に行われました。

高等学校につきましても、前日の17日に戸塚高校において開催いたしました。

では、内容につきましては、指導主事室長より御説明いたします。

宮城指導主事室長

指導主事室長の宮城でございます。

本年度は研究テーマを「未来を拓く横浜の教育～社会に開かれた横浜らしい教育課程の創造～」と設定して、研究を進めてまいりました。

教育課程研究委員会は、各教科等の全体をまとめる総則として、主に学校経営を視点としたカリキュラム・マネジメントの在り方に関する研究を行っております。

教科等専門部会では、各教科等で育成する資質・能力を身に付けるための授業改善の在り方に関する研究を行っております。

下にあります日程・会場等一覧を御覧ください。これらの部会は市教委が主催して、年間を通じて研究を行っているもので、例年夏に協議会を開催して、その成果を発信するものでございます。小中学校、特別支援学校の協議会については、後ほど御説明させていただきます。

表の一番下にあります17日に高等学校も協議会を開催いたしました。午前中の全体会ではアクティブ・ラーニングや中教審の動向の説明、そして2つの講演会がありました。1つ目は、横浜国立大学名誉教授の高木展郎先生に「学習指導要

領改訂と授業改善」という演題で御講演いただきました。

2つ目は、東京学芸大学教育学部准教授、渡部竜也先生に「主権者育成のための手立て～模擬選挙をすることより大切なこと～」という演題で御講演いただきました。

また、午後は各教科別の分科会で、文部科学省の中央説明会の内容を発信し、これからの授業改善について協議されました。

今年度の参加人数は、下の合計にありますように、全体で9,780名の参加となりました。会場の都合で教科等によっては人数制限をせざるを得ない状況もありましたが、実際に日々授業を行っている教員の約7割が参加したことになります。

資料の裏面を御覧ください。研究協議会の内容を簡単に御説明いたします。研究協議会全体会、先ほどの総則部会ですが、事務局説明の後、「新しい教育課程の編成等に向けて今現在行っている教育活動を新しい視点で振り返る」という趣旨で、3つのワーキンググループから提案が行われました。

第1ワーキンググループからは、学習指導要領改訂の中で示された理念である「社会に開かれた教育課程」というテーマで、これからの教育課程の在り方について、パネルディスカッション形式で提案がありました。

第2ワーキンググループからは、「横浜らしい教育課程の創造」というテーマで、第2期横浜市教育振興基本計画の施策にある「横浜らしい教育の推進」に挙げられた5つの重点取組に沿って、現在の学校の取組を新しい教育課程の視点から振り返り、次の教育課程の編成等につながる部分を明らかにする提案がなされました。

第3ワーキンググループからは、「全教職員で取り組む私たちのカリキュラム・マネジメント」というテーマで、カリキュラム・マネジメントを全教職員で組織的に進めていくための工夫について、学校の具体的な取組例や副校長や学校事務職員の立場からカリキュラム・マネジメントにどう関わっていくかなどについても提案されました。

全体会で提案した総則部会は、小学校、中学校、義務教育学校だけでなく、特別支援学校、高等学校という各校種の校長、副校長、養護教諭、事務職員という委員で構成されておりまして、特別支援学校や高等学校との教育課程のつながりも示されました。また、校長のみならず、様々な立場から学校経営に参画するという1つの姿を提案することができました。

協議会の後半は、千葉大学の天笠茂先生に「学習指導要領改訂をマネジメントする」という演題で講演と指導・講評をいただきました。次期学習指導要領の取りまとめの中心となっておられる方から最新の情報をいただくとともに、ワーキンググループの提案について価値付けをしていただきました。この協議会を通じて、これまで横浜が取り組んできたことを次期学習指導要領の視点で振り返り、今後各学校が教育課程の編成に向けて取り組んでいくべき方向性を確認することができました。

続きまして、下の段にあります教科等専門部会では、各教科等の専門性を持った校長や教員が委員となり、大学教授等専門の外部委員にも加わっていただきながら、より良い授業づくりを目指して研究を進めてまいりました。今年は「各教科等におけるカリキュラム・マネジメント」をテーマに、その第一歩である授業改善に視点を当て、学校教育目標や他教科等との関連も視野に入れながら、全体会や分科会を通して授業改善に向けての提案や研究協議が行われました。

総則部会や教科等専門部会の協議会は小中学校合同開催の形態をとっております。私も24日に行われました理科の専門部会に参加してまいりましたが、分科会では本市の小中一貫教育を推進するために設置している小中学校のブロックごと

に小学校と中学校の理科の教員が集まって、ブロック内の理科教育の取組の現状について協議する場面が見られました。活発な意見交換を通して、授業改善の在り方について理解を深めるとともに、更なる授業改善をしていこうという教員一人ひとりの意欲が高まった研究協議会でした。

各学校ではこの研究協議会を受けまして、夏季休業期間の終わりに校内で報告会、研修会を実施し、協議会の内容を共有することで、学校経営や授業実践に生かすようにしております。

次期学習指導要領は、小学校では平成32年度に全面実施になり、33年度に中学校、34年度に高等学校という形で順次実施されます。この8月末にも国から審議のまとめ案が示されました。今年度中には次期学習指導要領が告示される予定でございます。こうした国の流れの中で、横浜市でも次期横浜教育ビジョン、これは仮称でございますが、この検討が進んでおります。横浜の未来を担う子供たちに自信を持って自らの人生を切り開き、より良い社会を作り出そうとするときに必要な資質・能力を育むためには、各学校がこれからの教育の方向性を理解した上で、特色ある教育課程を編成し、実施、評価、改善していくことが必要です。

そのための支援の1つといたしまして、来年3月に市立学校の教育課程の編成方針を示した総則素案を策定し、学校の自律的なカリキュラム・マネジメントをサポートし、積極的に情報発信をしていきたいと考えております。

なお、説明させていただきました各協議会の資料につきましては、後ほど委員の皆様にお渡しいたします。

報告は以上でございます。

岡田教育長

所管課からの説明が終了いたしました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

長島委員

質問なのですが、最初の表のところで説明いただいたときに、参加者が9,780人で70%ぐらいとおっしゃっていたのですが、各実績を見ますと少しずつ参加者が増えています。今回特にまた増えた背景として、研究発表の内容に興味・関心が高いから増えたのか、例えば講演者の先生のお話を聞きたいから増えたのかという調査か何かはありますか。

宮城指導主事
室長

1つはやはり先ほど申し上げたように、学習指導要領の改訂の動きが大分速いスピードで流れてきておりますので、学校のそれに対する意識が高まってきたということが挙げられております。

それからもう一点は、今おっしゃったように、協議会の開催の仕方を工夫する、教員自身が協議会に参加して良かったという過去の協議会の意識、「今年もまた行ってみよう」という好循環が生まれて参加者数が増えていると感じております。

長島委員

やはり本来であれば、70%が100%になることを多分目指していらっしゃるかと思うのですが、情報共有をしたり、同じ方向を向いて子供たちの教育をしたいということであれば、100%に向かっていくための努力というか、その背景を知ることでもまた次年度に向けての方向性とか仕組みができるのではないかと思いますので、是非その辺もまた視野に入れていただくと良いのではないかと思います。

西川委員

私は毎年この研究協議会の総則と音楽に出させていただいているのですが、今年の開き方はとても前進したと感じております。と、申しますのは、今お話があ

りました教育課程の改訂が控えていること、それから特別な教科の道徳が教科化されること、それと小学校では英語が入ってくる、いろいろな動きがあるということで、先生方もどうしたら良いのかということがあると思うのですが、とても分かりやすい説明があったと私は感じて、今回につきましてはとても評価させていただきたいと思います。

今、長島委員のお話のように、どうやってこれを先生方全員に浸透させていくかというのが大事なことではないかと思うのですが、どこの学校でも夏休みの後半、子供たちが来る前に大分研修会を重ねているようですので、これからの取組がとても楽しみだと思っております。

平成30年から小学校に道徳が入り、平成31年から中学校に入り、平成32年から教育課程の改訂があり、小学校、中学校と続くわけですから、その中で遅れないように子供たちがやっていくにはどうしたら良いのか、先生方もとても考えていると思います。ただ、私がとても感心したのは、道徳についても平成26年度からいろいろと取組をして、それで今に至る御指導ができているということは、非常に私はうれしく思っております。「どうしようかな」というところもあると思うのですが、推進校があったり、推進者がいたり、あるいは拠点校があったりというところの働きかけはすばらしいと思っております。

また、小学校ではプログラミングが入ってきますよね。そうすると、0歳から5歳までの間でどういう教育をしてほしいかという姿を出してくれたり、小学校はこういうところまで身に付けてほしいとか、18歳になるまでにここまで身に付けてほしいというようなことがとてもはっきり出て、横のつながりも大事だし、縦のつながりも大事だということをはっきり出させていただいたのは、先生方にとってもとても良かったのではないかと思っております。

私はその次に教科のほうに出させてもらったのですが、続けてよろしいですか。とても進歩したというか、面白いと思ったのは、授業改善の取組につきまして、今まで小学校は小学校、中学校は中学校と壁があったのですが、小中一貫教育の成果も出てきたと思うのですけれども、その壁がなくなって、とても先生方が仲良く、「中学でこうやっているのだけれど、小学校でここでこうやっているの」、「こういうところは知らなかった」とか、小学校の先生はまた「こういうことは中学にこうやってつながっているんだ」というような協議会の中でのやり取りがとても面白かったです。中には、意欲ある先生方からは、他校種の教科書が欲しいというような話が出るまで、もっと勉強しなければいけないという感じになったのではないかと思います。

とても良い協議会で、私も大変意欲をいただきました。ありがとうございます。

岡田教育長

ほかにはいかがでしょうか。

宮内委員

傍聴させていただいていないので、実際のところは何とも言えないのですが、例えば新しい指導要領ができていく、国の方針が出るわけです。それを理解して実現しようということは当然大事なのですが、我々、教育委員会、横浜市として意識しなければいけないのは、現場に最も近い教育委員会、また現場の先生方が直面している問題と、文部科学省が考えている理想との溝があるかもしれません。また、勘違いがあるかもしれません。その対立点をこういう機会を通じて表に出して、そしてできるだけ双方の理解が高まるように努力することが大事なのではないかと思っています。というのは、英語教育を小学校からやろうと言っても、そんなに簡単にできるものではないと思います。そういった声を文部科

学省に正しく理解してもらおうように努力する場としてもこれは効果的かもしれませんが。また、我々も文部科学省の考えを理解する場としても、こういう場というのは大事だと思います。

そこで、このワーキンググループ1、2、3、こういうワーキンググループや分科会がいろいろとあるのだろうと想像します。そういうところをどうやって活性化させていくか、それと、やはり困っていることとか矛盾ということをきれいごとで総括しないで、できるだけ表に出し、とにかく何でもテーブルに乗せてみようというマインドでこの協議会を深化させていく。そうすれば、文部科学省にとってもいろいろと現場を反映した意見を言っていく、という良い場になるのではないかと思います。是非この協議会をより深化すべく、皆さんと協議していきたいと思っております。

間野委員

参加された西川委員からすばらしい会だったということをお伺いしました。9,780人ですが、今、西川委員も総則と音楽に出られたということをおっしゃっていましたので、これは延べ人数でしょうか。

宮城指導主事
室長

はい、延べ人数ですが、総則は主に管理職、校長、副校長、主幹教諭等が出ておりまして、その下の教科等は各学校の教科の担当者、あるいは中学校でいうと主任等です。小規模な学校ですと、1名の教員が複数教科を担当しておりますので、そういう教員の場合は複数の協議会に出席していることも考えられます。

間野委員

なるほど。そうだとすると、実人数はもう少し少なくなるということですね。

宮城指導主事
室長

そうですね。実人数は少し少なくなります。

間野委員

7割より多分もう少し少ないのではないですか。

宮城指導主事
室長

そうなりますか。教職員が校長、副校長、管理職も全て入れて1万8千人ほどなのですが、4千人引いて1万4千人の7割程度という計算をしております。

間野委員

何が言いたいかという、多分こういうところに熱心に来る人と、全然来ない人と、二極化しているかもしれないということを思ったのですが、それはどうでしょうか。

宮城指導主事
室長

学校の中でも一番教科を回していく主担当者にこの協議会に参加してもらって、その主担当者が理解したことを学校へ伝えるという、報告会、研修会を開いての流れになります。

間野委員

では、伝達講習的にしているのですね。

宮城指導主事
室長

そういう意味合いはかなりあると思います。

間野委員

分かりました。全員が出席しなければいけないというものではないのですね。100%ということはないということなのですね。

宮城指導主事 室長	はい。
間野委員	そうしないほうが効率が良いということですね。
宮城指導主事 室長	あと、理想はそうなのですが、先ほども申し上げたように、会場等の都合がございまして、入れません。
間野委員	では、ほぼ大体来るべき人はみんな来ていて、その後学校でしっかり伝達講習をしていれば、うまくいっているということなのですね。
宮城指導主事 室長	そういう意味合いでございます。
間野委員	分かりました。ありがとうございます。
西川委員	気になることが1つあるのですが、横浜では小学校で英語をはるかに先にやっておりますからいまさらということもあるのですけれども、時間数が文部科学省から指定されましたよね。小学校の中学年では何単位、高学年では何単位ということがあって、単位数が増えるということは授業数が増えるということですよ。でも、教育内容は変えず、教育課程の中でやってくださいというものもあって、先ほど宮内委員からお話がありましたが、そこのでこ入れというか、方法を示唆していかないと、難しくなるのではないかという感じがしておりますので、またお力をお貸しいただけたら有り難いと思います。
今田委員	私もかつて教育委員になり立ての頃ずっと「夏のお盆の頃によくやるな」と思いながら、関内ホールへ何度か行きました。今、宮内先生からお話があったように、私も何か一つ食い足りませんでした。なぜかというと、ある意味で報告会というか、上からみんなに伝えるというような感じが、それはそれで来ている人たちのレベルにそういう段階も必要だろうと思うのですが、これをもう一度より実質的に機能させていくというか、横浜がオールジャパンとしての位置付けの中でいくと、先ほどお話があったように、今、国の言おうとすることと、横浜との間でのギャップのようなものを、こんな大きな格好ではなかなかできませんけれども、もっと工夫をして、課題を抱えている部分のセクションでそれなりに見識を持った人、意識の高い人たちが集まって議論していくと、報告会のようなものではなくて、より創造的で質の高いものができていくのではないかと思います。なかなかやり方はいろいろと工夫をしないといけないし、難しいところがあるのですが、毎年これを夏の恒例行事のようにやることも必要なのですけれども、一步これをより深化させる工夫を、僕は宮内委員のお話を聞きながら「そうだな」と、「何かがあれだな」というのは気になっていたもので、それを一遍オフサイトミーティングで議論して、方向付けをされると、お互いに、横浜にも良い、文部科学省にも良いものができてくるのではないかと思います。是非まじめに議論を、少数で絞ってやらないとだめだと思います。
岡田教育長	矛盾も課題もたくさんあって、それを踏まえて良い授業をしていくための研究会で、矛盾や課題のところはまたきちんと議論していかなければいけないので、それはそれでやっていきたいと思います。こういう場で現場の先生からやはり幾

つかの課題の提案も出てきていましたので、それは受けとめながらやっていかないと、実際の授業に生きていきませんから、頑張っていきたいと思います。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、御意見を生かしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

では、次に議事日程に従いまして、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りいたします。教委第37号議案「教職員の人事について」は人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、教委第37号議案は、非公開といたします。

審議に入る前に、そのほか皆様から何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

では、事務局から、報告をお願いいたします。

古橋総務課長

次回の教育委員会臨時会は、9月12日月曜日の午前10時から開催する予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

岡田教育長

それでは、次回の教育委員会臨時会は、9月12日月曜日の午前10時から開会する予定といたします。別途、通知いたしますので御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方、マスコミの方は御退席をお願いいたします。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第37号議案「教職員の人事について」

(原案のとおり承認)

岡田教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前10時46分]